

入川舜

ピアノリサイタル

Shun Irikawa Piano Recital

2011年4月28日(木)

開場18:30 開演19:00

静岡音楽館AOIホール 8階

<JR静岡駅北口、静岡中央郵便局合同ビル内>

<プログラム>

J.S. Bach
J.S.バッハ *Partita Nr.6 BWV830*
パルティータ第6番 ホ短調 BWV830

F. Chopin
F.ショパン *Grande Valse Brillante op.18*
華麗なる大円舞曲 変ホ長調 op.18
バラード第1番 ト短調 op.23 *Ballade No.1 op.23*

H. Inui
乾 春男
ペルソナ *Persona*

C. Debussy
C.ドビュッシー
「子供の領分」より *From "Children's Corner"*
「映像」 第2集 *Images (II)*

I. Stravinsky
I.ストラヴィンスキー
「ペトルーシュカ」からの3章

Trois mouvements de Petrouchka



一般 2,000円 (当日2,500円) 学生 1,000円 (当日共) 全席自由

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

※収益金の一部を「あしなが育英会」に寄付させていただきます。

主催：入川舜を支える会

後援：東京藝術大学音楽学部同声会静岡県支部、静岡聖光学院

・チケット取り扱い：静岡聖光学院事務局 (054-285-9136)

TSUTAYAすみや静岡本店プレイガイド (054-0251-1233) 音楽舎 (054-265-2930)

・お問い合わせ先：田中 (054-347-1085) 入川 (054-287-7008)

♪ 本公演に先立ち2011年4月10日(日)18:30より東京 上野公園内の旧奏楽堂において入川舜と菖蒲弦楽三重奏団によるジョイントリサイタルが開催されます。(主催 ミッテンヴァルト 03-5957-1512)

designed by Yoshihiro Uchida

Shun Irikawa

入川 舜 ピアノリサイタル

今まで多くの方々とのお会いに恵まれたおかげで、リサイタルを開催できることになり、大変嬉しく思っています。
今回のプログラムでは、私が今いちばん身近に感じる作曲家の作品を組んでみました。
さまざまな時代の響きをどうぞお聴き下さい。

入川 舜



<入川舜プロフィール>

静岡市出身。静岡聖光学院高等学校卒業。現在東京藝術大学大学院2年在学中。
2000年に第5回「静岡の名手たち」オーディションに合格、静岡音楽館AOI主催の演奏会に度々出演。
伴奏や現代音楽にも力を入れている。
大学内においては、2007年芸大プロジェクト、第35、36回室内楽定期演奏会等に出演、
2008年4月の新卒業生演奏会では、松岡あさひ作曲・ピアノとオーケストラのための新作を、
芸大フィルと共演した。大学卒業時に同声会賞受賞。
第12回松方ホール音楽賞受賞。日本ピアノ調律師協会主催の新人演奏会に出演、
同主催の「ピアノ誕生300年記念講演」にて演奏。六花亭コンサート、軽井沢8月音楽祭等に出演。
2010年ミッテンヴァルト社からデビューCD「日本のピアノ・ソナタ選」を発売、
平成22年度文化庁芸術祭参加作品となり好評を博す。
ピアノを高瀬健一郎、寺嶋陸也、辛島輝治、迫昭嘉の各氏に、フォルテピアノを小倉貴久子氏に、
伴奏法をローラン・テシュネ、松浦真沙、野平一郎の各氏に師事。

入川舜さんのピアノ演奏を是非多くの皆さまに聴いていただきたい……舜さんのピアノをこよなく愛する私たちの熱い思いから、
この会は生まれました。私たちは、舜さんとのそれぞれの出会いの中で、舜さんのピアノ、音楽に対する真摯な姿勢と情熱、
そして誠実で心温かい人柄に魅せられ、ピアニストとしての人生の今と未来を、ささやかながら応援したいとの気持ちを持ち続けてきました。
この度、「入川舜ピアノリサイタル」として、その思いが実現できますことは大きな喜びです。静岡市出身の志高く、感性豊かで、
才能に恵まれた若きピアニストは郷土の誇りであり、希望でもあります。
ご一緒に舜さんを支えていただけることを願っております。舜さんのピアノが、皆さまの心の友となりますように……。

入川舜を支える会

入川舜のデビューCDが発売されました! (ミッテンヴァルト MTWD-99045)



平成22年度文化庁芸術祭参加作品
日本のピアノ・ソナタ選 ～小松耕輔・乾 春男・大澤壽人～
◇明治・大正・昭和
三代の作曲家が紡ぐフランスへの憧れ 一片山杜秀一
◇「ベルソナ」は僕にとって初めての「現代音楽」だった。
その音楽に、こうして会えるではないか!
—作曲家 池辺晋一郎(ライナーノートより)—

★日本人作曲の優れたピアノ作品を楽しむCD

明治の初め日本に入った洋楽は、外国曲に日本語の歌詞をつけた「蝶々」「蛍の光」などに始まり、その後滝廉太郎や山田耕筰らが
芸術の薫り高い歌曲を生み出しました。同時に日本の作曲家たちは管弦楽曲、室内楽、独奏曲などの器楽曲にも取り組み、多くの楽曲が
生まれましたが、それらはその後忘れ去られ、現在では楽譜の入手も困難で、聴くこともできないような状態にあるものが大半です。
このような珍しい作品の中からピアノ・ソナタを中心にまとめたものがこのCDです。
「泊り船」という歌曲が知られているだけの小松耕輔の作品は、クラシカルな響きが抵抗なく楽しめます。20歳の若さで没した乾春男の
天才ぶりにも驚かされます。大澤壽人は大変モダンな作風の中に、日本の響きが織り込まれています。CD収録の最後の曲からは、落語家
三遊亭円楽(先代)が出囃子にも使った、三世杵屋正治郎作曲「元禄花見踊」の一節「トーンチン・チャチャシャチャン……」が
聞こえてきます。

— プロデューサー 齋藤保夫 —